

パナマ共和国 ルイス・ロケベル海事庁長官兼海務大臣の表敬訪問

パナマ共和国のルイス・ロケベル海事庁（AMP）長官兼海務大臣が、1 月 28 日（火）に当協会を表敬訪問しましたので、その概要について以下お知らせします。

【面談概要】

日付：2025 年 1 月 28 日（火）

場所：川崎汽船 本社

出席：パナマ海事庁 ルイス・ロケベル長官、ラモン・フランコ商船局長

パナマ大使館 ワルテル・コーエン大使、

サミュエル・ゲバラ セグマル東京チーフ、他

日本船主協会 明珍会長、土屋副会長、篠原理事長、

綾 労政委員会副委員長（川崎汽船 専務執行役員）、

山鹿 政策委員会委員（川崎汽船 取締役専務執行役員）他

冒頭、明珍会長からは、ロケベル長官の初来日に心からの歓迎の意を表明するとともに、日本商船隊の半数以上がパナマ船籍であることに触れ、その中で、AMP は日本船主にとって信頼のおけるパートナーであり、今後もユーザーの声に真摯に耳を傾けて頂きたいとの要請を行いました。

これに対し、ロケベル長官からは、これまでの自身の経歴に触れつつ、今後 5 年間の任期の中で、日本の海運業界からの期待に応えるべく、オープンで双方向の対話を通じ、船籍の有用性向上に向けた努力を行っていききたいとの返答がありました。また、同席したフランコ商船局長からも、日本の船主とのより強固な関係を構築していきたいとの発言があり、今後も対話を行っていくことを確認しました。



左から、土屋副会長、ゲバラチーフ、コーエン大使、ロケベル長官、明珍会長、
フランコ商船局長、エスピノーザ セグマル東京チーフ、篠原理事長